



AWS 全資格を取得した スーパー講師に聞いてみた

近年、注目度が高まっている「AWS 認定資格」。人気のクラウドサービス「AWS」の資格とはどんなものか、みなさんも気になっているはず。そこで、11種あるAWSの資格すべてを取得しているという、CTCテクノロジーの人気講師、土屋大輔先生に、資格の中身や勉強法、Web制作者やマーケターにはメリットがあるのかを、ズバリ聞いてみました！

Text: 小泉森弥 Illustration: 國廣稔



「AWS 認定資格」って何？ どんな

メリットがあるの？

Q1 AWS 認定資格とは なんですか？

Amazon自身が運営する、AWSに関する公式認定資格です。2022年5月現在、11種類の資格がレベル別・カテゴリ別に用意されています^{*1}。テストセンターでの受験に加え、オンラインでの受験もできます。

Q2 AWS 認定資格が大きな 注目を集めている理由は？

全体的な傾向として、AWS認定資格は現場経験を重視していますので、幅広いサービスであるAWSを体系的

に理解し、使いこなすスキルを持っていることを示す証明になると思います。社内での評価向上はもちろん、就職・転職にも役立つでしょう。

また、AWSの勉強を進めていく際の、マイルストーン(目標)として位置付けている人も増えています。

Q3 Web制作者も取得する メリットはありますか？

大いにあると思います。AWSは、サーバやストレージ、データベースといったインフラ関連のリソースと、そのリソースの中にあるOSやミドルウェアを扱うサービスです。そのノウハウを習得すれば、Webアプリケーションの準備

や作成、システム構築、さらには運用といった領域にまで業務の幅を広げることができますし、キャリア形成にもプラスになるはずです。

また、Web制作会社にとっては、自社でAWSを扱えるようになればインフラ関連リソースの構築・設定や運用を外注せずに済み、大幅なコスト削減を実現できます。まずは初心者向けとも言える「クラウドプラクティショナー」資格(下部参照)を目指して、勉強を始めるのがいいでしょう。

Q4 では、マーケターに とってはいかがでしょう？

実は近年、AWSを学ぶマーケターが

増えてきています。というのも、AWSには、本格的なデータ解析を行うシステムを構築する仕組みが用意されており、理解を深めることでデータ活用の幅が大きく広がるからです。

Q5 “初心者”はどう勉強 するのがいいでしょう？

先ほども触れた通り、AWS認定資格は実務経験を重視した設問が多く出題される傾向にあります。そのため、実機を操作しながら学んでいくことが大切です。とはいえ、日常的にAWSを利用できない人もいます。その場合は無料で利用できる「AWSスキルビルダー」^{*2}で勉強するのがおす

めです。質の高い教材が用意されており(主に動画)、トレーニングを積むことができます。ただし、AWSスキルビルダーはコンテンツが多すぎて、どこから学べばいいかわからない、という声もあります。ポイントを押さえつつ、効率よく学習を進めたい場合は、私も担当しているCTCテクノロジーの「AWS認定コース」のような、資格受験のための講座の受講をおすすめします。

Q6 土屋先生が担当するAWS 資格取得講座の特徴は？

CTCテクノロジーは、現場を強く意識した教育サービスを提供しています。

それは当社が、システム構築や運用・保守といった業務も行っている会社で、そこでの知見を活かした教育を行っているからです。実務を重視したAWS認定資格とは、相性が良いと思います。なお、CTCテクノロジーでは都内などの会場で定期的に行う「集合研修」と呼ばれる講義スタイルと、遠隔地から受講可能な「Liveオンライン研修」を組み合わせた、ハイブリッドでの講義を実施しているほか、企業での研修などにも柔軟に対応しています。ぜひ受講を検討してみてください。

^{*1} 11種類の資格 「基礎コース」「アソシエイト」「プロフェッショナル」の3つのレベル、「アーキテクト」「運用」「開発者」の3つの役割に向けた6つの資格と、5つの専門分野資格があります。
^{*2} AWSスキルビルダー Amazonが提供する無料のオンライン講座 URL: <https://aws.amazon.com/jp/training/digital/>

土屋 大輔 先生 Daisuke Tsuchiya
CTCテクノロジー株式会社 エデュケーション企画推進部
CTCテクノロジーにて講師を務める。AWSでは初級～上級コースを担当。深い知識と丁寧な解説で高いお客様満足度を誇る人気講師。自らAWSの資格をすべて取得し、AWSから「APN ALL AWS Certifications Engineers」として認定される。

CTCテクノロジー株式会社 教育サービス
保守や運用、構築、IT教育の各種サービスを提供する。中でも教育の分野では、AWSをはじめ、シスコやマイクロソフト、VMWareなどの研修を中心に豊富なコースを提供。ビジネスの最前線で役立つITスキルを短期間で効率よく習得できるよう、最適なカリキュラムを用意している。
URL: <https://www.school.ctc-g.co.jp/>

▶▶▶ CTCテクノロジーの講義で

Web制作者やマーケターがAWSを体系的に学んでいく際には、まず初心者向けと言われる「クラウドプラクティショナー」を目指すといいでしょう。同資格はクラウドへの理解と、基礎的なAWSの知識があることを認定するもので、AWSを理解し、活用していくための最初の目標になるでしょう。なお、土

資格取得の第一歩を踏み出そう！

屋先生が講師を務めるCTCテクノロジーでは、クラウドプラクティショナー取得を目指す人に向けて2つのコースを用意しています。いずれも短期集中で資格取得のためのポイントを習得するための講座です。詳細は右のQRコードでアクセスできる講座のサイトで確認してください。

◆コース① AWS Cloud Practitioner Essentials (v3)

AWSを全体的に理解したい方を対象としたコース。クラウドの概念、AWSのサービス、セキュリティ、アーキテクチャ、料金、サポートについて学習します。Web制作者やマーケターなど、基礎からAWSを学びたい人に最適なコースです。
URL: <https://www.school.ctc-g.co.jp/course/AW21.html>



◆コース② AWS Technical Essentials (v5)

コース①を受講した人や、システム担当者などに向けたコース。コンピューティング、データベース、ストレージ、ネットワーク、モニタリング、セキュリティといったAWSの基本概念を習得します。また、AWSの操作にも触れることができます。
URL: <https://www.school.ctc-g.co.jp/course/AW22.html>

